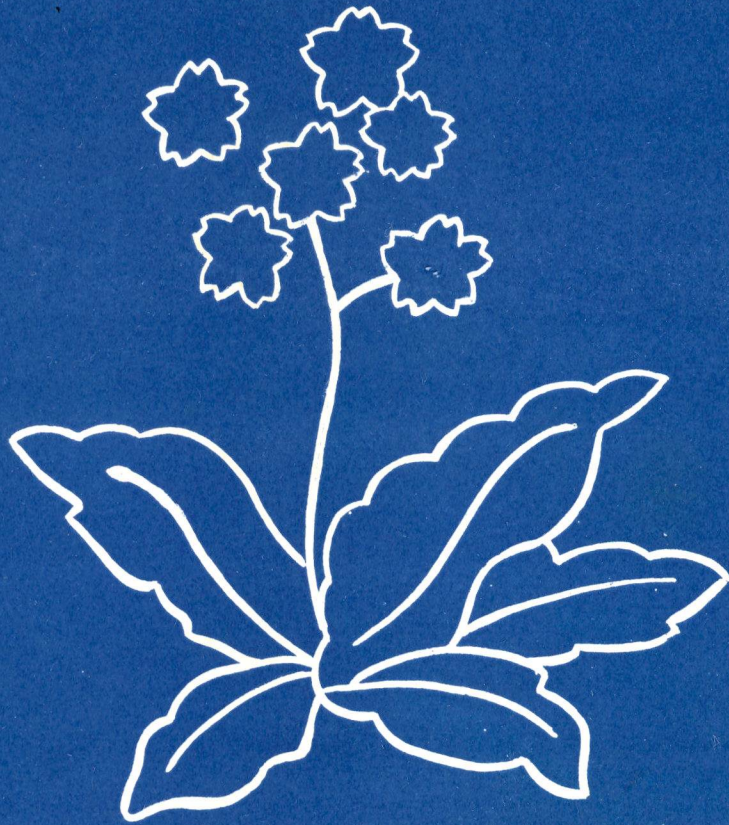


Sandai Kō Kyō Kyoku no Yūbe

三大交響曲の夕



時： 61.11.23.PM.600

所： 埼玉会館

主催： 埼玉大学大学祭実行委員会

第12回 埼玉大学大学祭記念音楽会

三大交響曲の夕

指揮 芥川 也 寸 志

演奏 東京労音新交響楽団 (第一オーケストラ)

曲 目

交響曲第八番ロ短調「未完成」

シ ュ ー ベ ル ト

交響曲第五番ホ短調作品95「新世界より」

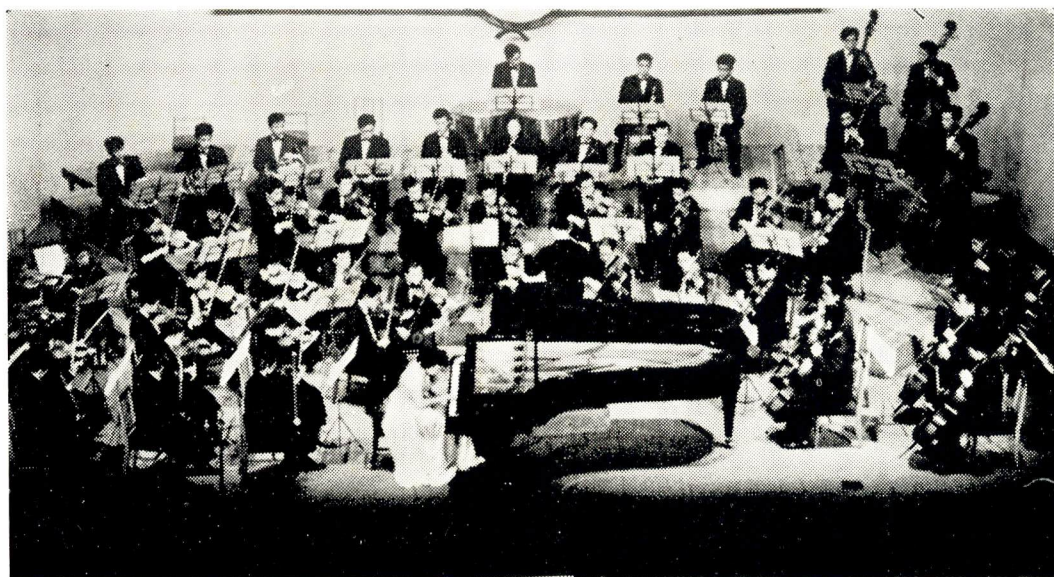
ド ボ ル ザ ー ク

交響曲第五番ホ短調作品64

チヤイコフスキー

時 11月23日 P.M.6.00開演

所 埼 玉 会 館





芥川也寸志

今日はこのオーケストラを聴きにきて下さつて本当に有難うございます。たとえ技はつたなくとも、みんなが一生懸命練習してきたその成果を温い気持ちで迎えてやって頂きたいと思ひます。

このオーケストラのメンバーは、すべて昼間は職場で働き、あるいは学校で勉強している人々です。したがつて、オーケストラとしての技術的向上には、おのずから一つの限度があります。しかし、アマチュア音楽における楽しさ

やよろこびや、張り合いというものは、その<限度>によつてこそ、生れてくるものともいへましょう。ただ問題は、その限界の中に安住するか、あるいはその限界を常に意識し、それへの挑戦を試みるか、そのいずれの道を選ぶかということです。私は、アマチュアだから、という度々使われる「かくれみの」の如き言葉を好みません。それは単に自分自身への自己満足と、道楽の楽しみを生み出すことにしか役立たないからです。そればかりではなく、アマチュアリズムの本質に、最もそむく言葉でさえあります。下手でもよろしい。恥じず・怖れず、堂々と自己をうち出してゆけばいいのだと思ひます。

そういう点で、このオーケストラの連中は実にたのもし。団結し、励ましあつて、助けあつて、いつも大きな目標に向うレールの上を、たとえ少しずつでも前進しようと一生懸命です。今日聴きに來て下さつた皆様。どうか彼等の意気と情熱をお汲取り下さいますように。

私たちは、今与えられたこの一つの時間に總ての力を注ぎます。それが皆さまの心のどこかに、わずかでもふれあうことをひたすら祈りながら――。

新 響 の 歩 み

- 30年2月 初練習(アメリカ文化センター)
- 11月 芥川先生を迎える。
- 31年8月 第1回総会を開き「東京労音・新交響楽団」と改称する。
- 32年7月 鎌倉において合宿練習を行う。
- 11月 合唱団との協演で第1回定期演奏会を日本青年館で行う。世界民謡集・ラデツキー行進曲、オーゼの死、芸術家の生涯、交響曲「運命」
- 33年11月 東京労音5週年音楽祭に出演。劇場支配人序曲、アイネクライネ、P協奏曲戴冠式、交響曲ジュピター、ピアノ石浜和子
- 34年5月 福島県会津労音例会に出演。小中学生のための音楽教室、例会では、エグモンド序曲、ラデツキー行進曲、交響曲未完成、交響曲運命
- 9月 第7回世界青年学生平和友好祭代表参加記念音楽会に出演。エグモンド序曲、トランペット吹きの子守唄、交響曲未完成
- 10月 モイセーエフ舞踊団との交歓演奏会に出演
- 12月 日本のうたごえ祭典に初参加。トランペット吹きの子守唄、ラデツキー行進曲を演奏
- 35年1月 長野県上田労音例会に出演。「劇場支配人」序曲、アウリスのイフィゲニア序曲交響曲「未完成」、交響曲「運命」、中学生のための音楽教室を開催
- 5月 埼玉県熊谷労音例会に出演。交響曲一番ベートーベン・皇帝円舞曲、酋長の行列・イストレリータ・ラデツキー行進曲、交響曲未完成、中学生のための音楽教室開催
- 11月 大田区民会館において「映画と音楽の夕」に出演。モーツアルトの交響曲四十一番、パツハの組曲第三番を演奏。
- 12月 日本のうたごえ祭典第2回目の出演。青春組曲を演奏

曲 目 解 説

交響曲第八番「未完成」……シューベルト

この曲は旋律が非常に美しいこと、それに和声と音色の使いこなしが新鮮であることなどによつて、我国だけではなく、広く世界でも最も人気のある交響曲の一つに数えられています。更にこの曲を有名にしたのは、この曲がシューベルトの25才の頃(1823年)に書かれたにも拘らず、彼の死後まで発表されず、しかもこれほどの名曲が途中までしか書かれていないということです。つまり「未完成」に終つているということです。そのため、その理由にはいろいろの憶説が出て、映画にも随分採り上げられました。しかし、実際のことはわからないというのが通説です。それはさておき、この三楽章と四楽章を持たない交響曲は、形式上では未完成かも知れませんが、内容的には完成されているというのも通説です。実際はシューベルトは第三楽章の途中までピアノ用スケッチを書いておられますし、その最初の小節だけはオーケストレーションさえされておられます。彼ほどの天才がどうしてそれを続けて書かなかつたのかというよりは、彼が天才であるが故にその天才の直観によつて、もうこの曲にどのようなスケルツォやフィナーレをつけても、かえつて無用の長物になると思つたからではないでしょうか。それほどこの曲は一、二楽章だけで完成しているように思われるのです。

第一楽章 アレグロ・モデラート

ロ短調4分の3拍子の、簡単なソナタ形式で出来ている。冒頭に低音弦楽器が奏する旋律は、大指揮者ワインガルトナーが「あたかも地下の世界からのように」と評したところであるが、その最初の三音からなる動機が、第二楽章においても大きな役割を果たしている。地下の世界からの音が終るのを待つてヴァイオリンが、16分音符のこまかい第一主題を奏でる。そのあとファゴットとホルンの経過部を経て、第二主題が出るが、これも最初の動機を含んでいる。注目すべきは、この第二主題が、ロ短調に対するニ長調ではなくト長調だということである。最後は又ロ短調に戻つてきれいな和音で終る。

第二楽章 アンダンテ・コンモート

ホ長調8分の3のこの楽章は、同じものを二つ繰返してそのあとにコーダをつけたと見てよい。その第一部は云わば不規則な三部形式と考えられないこともない。最初コントラバスのピツチカートに伴われて第一ヴァイオリンが主題を奏で、それにチェロが美しく対位する。これの反復とみてよいだろう。中間に二度出てくる絃の長いシンコペーションをバックにした木管のソロの部分はこの楽章を最も特徴づけ、且つ清らかなものになっているところと云えよう。美しい見事なコーダのあとにはもう三楽章以下をつけ加える必要性を全く感じさせないだろう。

交響曲第五番「新世界より」……ドボルザーク

1892年から95年にかけて、ドボルザークは国民音楽院の院長としてアメリカに滞在しましたが、彼の作品のうち有名なこの第五交響曲をはじめ弦楽四重奏曲「アメリカ」やチェロ協奏曲といったものは、すべてこの期間に書かれております。これらの曲は、その殆んどに黒人靈歌やアメリカインディアンの旋律、リズムが素材として用いられておりますが、これは、彼がそれらに大きな興味を抱いたからというのではなく、むしろ、その中に故郷ボヘミアの民族音楽との近似性を見出したからではないでしょうか。さて「新世界より」という副題は「新世界」アメリカから「旧世界」たるヨーロッパへ宛てた便りともいふようなことでしょうか。曲は伝統的な形式からはずれることなく、ただ循環主題の手法を除いては特に目新しいところもありますが、優れた管弦楽法と、親しみ易い、いわゆる「ドボルザーク節」で全部が統一されております。

第一楽章 アダージョアレグロ・モルト

曲は、低音弦楽器群の奏するホ短調8分の4拍子の序奏で始まるが、これは、単に第一楽章における序奏というよりは、この曲全体を綜合した序奏と云つてもよい。というのは、この序奏部には、全曲に有機的関連をもつ主題的な要素が含まれているからである。やがて、主部が、アレグロ・モルト、ホ短調4分の2拍子の軽快なリズムを刻み始め、すぐに民族的色彩の濃い第一主題へと入る。第二主題は第一主題のホ短調に対し、定石通りト長調で書かれているが、これも、非常に民族的な匂いの

強い旋律である。展開部では主として第二主題が扱われ
再現部では第一主題は原調で、そして第二主題は変イ長
調で出てくるが、やがて原調に戻って壮大なコーダへと
入って行く。

第二章 ラルゴー

「家路より」で知られた有名なラルゴーである。この楽
章は大ざっぱに見て複合三部形式と云えよう。先ず管楽
器群の奏する和音的な変ニ長調の序奏が厳そかに出て来
たあと、例のイングリッシュ・ホルンの哀調を帯びた主
題が出てくる。次に嬰ハ短調（主題の変ニ長調と異名同
音）の中間部がフルートとオーボエのユニゾンで始まり
展開されて再び原調の再現部へ戻ってくる。ここでは主
題が弦楽器で奏される。

第三章 モルト・ヴィヴァーチェ

定石通りこの楽章はスケルツォであるが、その旋律は
極めて哀調を帯びたものである。形式は型通りの複合三
部で、この楽章も序奏で始まる。次に主題の準備的前奏
があるが、これが、ホロトニというギターの調弦と同じ
順序で出てくるところなどは、いかにも民族的特質を示
していると云えよう。主題はホ短調で現われ、次に木管

の奏するホ長調の副主題へと受けつがれる。トリオも三
部形式で書かれ、主題、副主題ともに長調の非常に明る
い旋律である。コーダでは、この楽章の主題と第一楽章
の主題が組み合わされている。

第四章 アレグロ・コン・フオーコ

9小節の序奏のあとホ短調の雄大な第一主題が金管楽
器で奏され、それはそのまま第一ヴァイオリンへ受けつ
がれる。経過部のあとクラリネットによつてト長調の物
想いにふけるような第二主題が奏され、やがて展開部へ
入って行く。展開部及びコーダではこの曲の各楽章の主
題がすべて取扱われ、巧妙に組合わされているのが大き
な特徴をなしている。

交響曲第五番……チャイコフスキー

チャイコフスキーの交響曲全六曲のうち特に有名なの
は四番、五番、六番の曲ですが、この曲はそれぞれ異つ
た特徴をもっていると云えましょう。六番にはその標題
「悲愴」が示すような人生の憂愁、苦悩が感じられます
が、四番は、その時の彼の環境が左右してか（或は夫人
から好意ある援助を受けて財政的な悩みはなかつたと思
われる時期）明るい感じの非常に多い曲です。さてこの

◀ 新刊ご案内 ▶

世界歌劇全集 第一回配本 カルメン ￥800

大音楽家・人と作品／海老沢敏著 モーツァルト ￥230

小松耕輔著 わが思い出の楽壇 ￥380

音楽写真文庫・6／属啓成著 滝 廉 太 郎 ￥250

笈田光吉著 聴 音 訓 練 ￥600

楽式の研究・1／諸井三郎著 基 礎 楽 式 ￥550

東京・豊島・高田南1-396 振替東京196250 音楽之友社

五番は、この両極端の中間に位置するだけあつて、上記3曲の中では最もオーソドックスなものであると云われております。曲が完成したのは1888年の夏で、チャイコフスキーの48才の時です。初演はペテルブルグ（今のレニングラード）で作曲家自身の指揮の下におこなわれ、非常に喝采を博しましたが、何故か彼はこの曲をあまり好まず、後にドイツで好評を受けたところから、ようやく自信を持ったと云われています。

第一楽章 アンダンテ＝アレグロ。コン・アニマ

ホ短調4分の4で冒頭に出てくるクラリネットの序奏は、作曲家自身が重々しくと指定している如く、如何にも誰かが云つたように「鉛色の運命が行進して来る」ような感じを与える。主部は8分の6拍子、クラリネットとファゴットが第一主題を奏でる。この主題は非常にリズムカルなのだが、何となく暗い影をもつて聞こえる。ロ短調の第二主題は情緒溢れる雄大な旋律である。展開部では第一主題が素材として扱われクライマックスをつくる。再現部では第二主題は嬰ハ短調となつて現われ、やがてコーダに入る。コーダの最後は、通常の曲の如く華々しくなく、最弱音で消えるように終る。

第二楽章 アンダンテ・カンタービレ

この楽章は三部形式になつている。先ず、弦の和音的伴奏の上に、ホルンが素晴らしく抒情的な旋律を奏する。次にオーボエが嬰ハ長調で明るい節を奏で、次第に発展して、やがて弦楽器にバトンが渡されクライマックスになると、突然第一楽章の序奏の「運命」を刻む旋律がフオルテで出てくる。そのあとは、又元のカンタービレにもどつて静かなうちに終る。

第三楽章 アレグロ・モデラート

ワルツである。ワルツは元来軽い調子のもので、構成の大きな曲の中には使用しないのが普通であるが、チャイコフスキーは、この交響曲の中で、スケルツォの代りにこれを用いて成功している。主旋律は冒頭からヴァイオリンで奏されて出てくる。明るく楽しい、軽快な感じである。次にクラリネットで、これが短調に変えられて現われ、再び主旋律に戻る。中間部では16分音符の速い形が各楽器を渡り賑やかに発展するが、また主旋律が再現し、終りには又、クラリネットとファゴットが「運命」の序奏を無気味にのぞかせる。

第四楽章 アンダンテ・マエストーソ＝アレグロ・ヴィヴァチェ

「運命」の序奏が長調で明るく力強く出てこの楽章は始まる。主部はアレグロ・ヴィヴァーチェのソナタ形式である。第一主題はホ短調2分の2拍子の派手な、いかにもロシア的なもの。第二主題はフルート、オーボエ、クラリネットといった木管の高音部で奏される。やがて全楽器で第一主題が現われて展開部に入り、再現部へと移つて行く。ここでは第一主題が低音楽器で奏され高音楽器は対比的な美しい旋律を奏する。第二主題は嬰ハ長調で現われる。全曲のコーダはホ長調の壮大な序奏で始まり、軽快なプレストでクライマックスをつくつてそのまま終る。

芥川也寸志さんのこと

諸井 昭二

夜の10時半、フジTVを通して話しかける芥川さん、月曜の日本のはひとき。いつ会つても、いつ見ても、芥川さんの顔は余り変らない。同じ人だから変らないのが当たり前と思うだろう、が決してそうでない。彼は余りきどらない。いつてみれば常に素顔という訳である。相手が誰でも、気軽に話しかける。例の調子で、片つ方の眉をあげてニヤツと笑う。髪の毛をかきあげる。だが、変らないのはその感じであつて、表情ではない。ニヤツの途端に、すごく澄ました顔にもなる。その変化のテンポは、逆に大変激しい。とても追いつけない。芥川さんの本当の素顔は……？ 彼はきつと云う「そんなものないよ」。彼の音楽が、その答かもしれない。

★

☆

★

★

☆

祝！ 第12回埼玉大学大学祭

ピアノ・オルガンの御用命は！

品質を誇り！

定評のある！

カワイ

(株) 河合楽器製作所

浦和営業所 電話浦和7206

川口営業所 電話川口6882

川越営業所 電話川越436

熊谷営業所 電話熊谷2835

◎ 楽器ならなんでも揃う店

米国キング管楽器日本総代理店

内外優秀管楽器取扱店

親切！

誠実！

信用ある！

(株) 下倉楽器店

千代田区神田神保町2の2(電停前)

電話 九段(331) 3352・3287



音楽の美しさと格調のために

ヤマハピアノ



柏屋楽器店—浦和
二ココ堂楽器店—大宮
谷田楽器店—熊谷
栗原楽器店—川越

日本楽器

東京支店 銀座7丁目 (571) 9151